

このような審議がありました

予算特別委員会

● 一般会計予算

スノーハープ木橋等 改修に5,698万円

歳入歳出それぞれ43億1500万円、前年度当初予算に比較すると2200万円の減です。

総務課

主なものは、地域情報通信基盤整備に985万円、参議院選挙・県知事選挙・村長選挙に1580万円、国勢調査に424万円、北部分団の小型動力ポンプ積載車の更新に670万円、10戸2施設の耐震診断に471万円です。

税務課

歳入の村税が13億7371万円、前年度比5887万円の減です。

滞納金の徴収体制、入湯税について質疑がありました。問 徴収体制については、答 村税徴収職員を1名減らし、延滞金徴収職員を1名増やします。

住民福祉課

子ども手当を通常の児童手当分に加えて9515万円の増、乳幼児医療給付費の給付対象を中学生まで拡充と重度心身障害者医療給付費の給付対象を精神2級まで拡充するため1100万円の増、デマンド型乗合タクシーの運行に1111万円、平成21年度から3ヶ年計画で自殺対策緊急強化事業に63万円計上し、講演会や相談会の実施します。配食サービス事業、医療サー

環境課

建設費の償還終了により白馬山麓環境施設組合負担金の減。ごみの減量化対策として給食残渣の堆肥化、小さなごみ袋を作成します。ごみ集積場設置補助、塵芥処理委託、松川公衆トイレ、野良猫対策、廃屋に対する条例制定と実態調査、オオタカ保護、リサイクル物の取り扱いについて質疑がありました。

観光農政課

産地確立交付金が廃止され、そばの生産者が大幅な減収が見込まれるため、村単独でコメ生産調整負担金701万円を計上し、そばの里づくりの推進ナラ枯れ対策事業に379万円、森林整備事業に496万円、シャトルバス運行事業に9

建設水道課

00万円、21観光戦略事業では宣伝費用として3000万円の増額をし、観光局負担金1億100万円を計上しました。耕作放棄地、観光農政施設の稼働率、国調成果による課税、今後の奈良井地区の整備、有害鳥獣対策、ナラ枯対策、21観光戦略事業、特産品開発、食育基本計画の策定について質疑がありました。

教育委員会

神城山麓線の事業量の減少により1億1500万円の大幅減額になりました。道路維持補修、道路凍結防止剤、除雪費についての質疑がありました。神城山麓線については、早期完成を要望しました。

● 国民健康保険事業勘定特別会計予算

歳入歳出それぞれ11億9998万6千円で、前年度当初予算に比較すると2561万7千円の減です。今年度は、基金から3000万円の繰入と後期高齢者支援金については、支援金分の税率を改正し、国保財政の安定化を図ります。

スノーハープの木橋等の改修に5698万円、北小・中学校に特別支援のために加配講師の雇用と安曇養護学校通学バスに同乗する介助職員賃金157万円、幼稚園就園奨励補助に290万円を計上しました。ジャンプ台施設の今後の利活用、スノーハープの木橋等の改修と今後の利活用、白馬塾、小・中学校のスキー教室について質疑がありました。▽ 以上について、賛成多数で可決すべきものと決定。

配食サービス事業、医療サー